

2024年度 社会福祉法人釧路百葉福祉会 事業報告

2024年度の事業計画の達成状況は以下のとおりです。

1. 法人の管理運営の充実

法人の業務執行を決議する意思決定機関である理事会を中心とした運営に努め、法人の管理力量の強化と運営の充実をはかってきました。

理事会での理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告を継続しています。

2025年度は理事・評議員改選の年となりますが、理事会としての体制案を確認することができました。

2. 保育園の管理運営

職員間の交流や意見交換、学ぶ意欲を大切にした運営に努め、どんぐりがめざす保育を共有し、チームとしての保育を大切にした運営を進めてきました。両園の経験年数に差があることから、各園の運営が円滑に行えるよう、保育士の異動を実施しました。

コロナ禍の経験も踏まえながら、新たな取り組みを開始し、保育内容を充実・発展させる取り組みを進めるとともに、親の会や保護者、地域との連携を強めることができた1年となりました。

昨年11月には、どんぐりの家後援会との懇談を行い、あらためて無認可から認可園へとつながる時期の後援会のみなさんの期待と思いに触れ、園の役割について考えさせられる機会となりました。

3. 職員の確保、処遇改善

常勤臨時保育士から3名を正規職員として登用するとともに、新卒保育士1名を採用することができました（いずれも2025年4月から）。

4月から正規職員2号俸、常勤臨時職員及び臨時職員1号俸の定期昇給を行い、一時金については正規職員4.2カ月、常勤臨時職員3.5カ月を支給、期末手当は正規職員及び常勤臨時職員0.3カ月、臨時職員5000円の支給を行いました。人事院勧告により正規職員の基本給の引き上げ、常勤臨時職員の号俸表の引き上げ、最低賃金の改定により臨時職員の号俸表の引き上げを行いました。

労働組合からの要求を受けて、お泊り会引率職員の夜勤手当（3000円）の支給を開始しました。

4. コロナ対策、安全・リスクマネジメントの取り組み

園内で様々な感染症が発生しましたが、保護者のご協力をいただき、釧路市や保健所とも相談しながら感染拡大を防ぐ努力を行いました。引き続き感染対策の学習を行って、対応を検討していきます。

もしもの時に備えた災害・防災対策は引き続き重要な課題です。充実に向けた取り組みを進めます。

両園で補助金を活用して、エアコンを設置することができました。

園内の事故防止のため、園の施設、備品等の点検を行いました。

5. 各種規程の整備

定年再雇用制度の職員の周知を行いました。

6. 法人ホームページ、園のリーフレットの更新

ホームページの更新、園のリーフレットの改定を行いました。

7. ICTの検討

補助金を活用しながら、両園で保育園ICTシステムを導入しました。

8. 経営の課題

法人の中長期計画では、積立金と資金収支差額の合計で年間1千万円を目標としています。

2024年度は、昭和で880万円、治水で1,030万円の計1,910万円の積立て、昭和で前年比▲24万円、治水で前年比＋37万円の計19万円の資金収支差額増となり、目標を大きく上回ることができました。

9. 会議の開催について

(1) 理事会の開催

3カ月毎に4回開催しました。

監事監査も3カ月毎に4回開催しました。

(2) 評議員会の開催

定時評議員会を6月に開催しました。1月に2回目の評議員会を開催し、日頃の園の状況を伝えるとともに、貴重な意見をいただくことができました。

(3) 法人事務局会議の開催

毎月1回開催しました。

10. その他

主な工事・修繕は以下のとおりです。

昭和：テラス張替え工事

エアコン3台設置（補助金活用）

保育室LEDランプ取換

コンセント工事・タブレット壁掛け工事

0歳児室床修繕

治水：園庭2ヶ所安全ネット

エアコン3台設置（補助金活用）

砂場抗菌剤

園庭裏マンホール付近陥没工事

玄関電気錠交換

トイレアコーディオンカーテン設置

3歳児クラス床修繕工事

以上

保育園の運営状況

年間利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
園児数（人）	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72

職種別職員数(3月末日現在)

園長	保育士(内パート)	保育補助	栄養士	調理員	事務員	用務員
1名	24名(内10名)	1名	1名	5名	1名	1名

2024年度の課題の取り組み状況について

1 保育園の管理運営の充実（実施状況は別表に記載）

- ・からだづくり・なかまづくり・こどもと生活を創ることを大切に保育を行ってきました。また、保護者や地域の子育て支援のために地域の保育園として何ができるかということも職員で考えながら運営をしてきました。
- ・保護者支援では、昨年0・1歳児クラスで実施した保育参観と給食試食会を2歳児クラスまで広げ、あそびと食の大切さを発信し、喜ばれる行事として定着してきました。以上児クラスでも実施してほしいとの要望が上がり2025年度は全クラスで実施します。また、2024年度から茶話会も復活し、クラス委員さんが中心になってゲームなどを企画し、こどもたちと保護者・担任とで楽しく交流することができました。親の会との共催で夏まつりも実施し、卒園児が活躍する場もあり、保育園にかかわるみんなで取り組み楽しむ催しとなりました。
- ・地域の子育て支援では、今年も園開放に合わせてお店屋さんごっこやお化け屋敷を開いて地域の方とふれあい、楽しい取り組みとなりました。また、園内で催す劇団やコンサートのポスターを児童館に掲示していただき、参加を呼びかけました。園開放や園見学で訪ねてくる家庭も増え、入園の相談や遊びのヒントなど情報の提供を行いました。
- ・管理体制では、今後の園運営を考え、2025年度の主任・リーダーの交代について発展的な話し合いを持つことができました。
- ・法人間では、必要に応じ両園長で打ち合わせを行い、両園の課題を共有してきました。その中で、両園の職員のバランスを考え、2024年度と2025年度も人事異動を行いました。2年続けて異動を行ったことで、人事交流のメリットも見えてきました。これからの職員のライフプランを考慮し、人事交流は大事になってくると感じます。

2 研修の充実

- ・研修計画に基づき下記の研修を実施しました。今後の動向を見据え、臨時職員にもキャリアアップ研修を受講してもらいました。
- ・全国保育問題研究会札幌集会で実践提案を発表しました。

「食べたい気持ちを育てたい 一年長組の食育活動を通してー」

実践者 澤柳 真紀子・相馬 咲月

- ・ちいさいなかま臨時増刊号に実践が掲載されました。

「食べたい気持ちが育つまで ―A君との一年間― 相馬 咲月

- ・保育者・教育者になるための特別支援教育―当事者の声を聴く―にコラムを執筆しました。

「好き」から始まり仲間とともに育ちあうかわりを 北構 和代

月 日	研修内容	参加者
4月19日	新人研修（両園）	2名(新人)
5月20日	わらべうた(知念直美先生)	4名(園長・主任・リーダー)
5月25日	園内研修(年間カリキュラム・わらべうたグループ討議(排泄の自立と保育))	8H職員
6月 6日 7日	わらべうた(横川牧子先生) 未満児 以上児 職員	各クラス 夜13名
6月 7日	子育て支援連携会議・研修	園長
6月 7日	わらべうた研修(横川牧子先生)	15名
6月11日	障がい児保育(公私合同研修)	1名(中堅)
6月25日	私保連研修(整理整頓・収納)	2名(8H)
6月28日 ～30日	全国保育問題研究会札幌大会 (身体づくり分科会で実践提案)	3名
7月10日	施設見学(野のはな園)・懇談	2名(以上児)
7月18日	発達相談(児童発達支援センター・玉川先生)3歳児	2名
8月28日	体育あそび(のぼり棒等)4歳児	5名
8月29日	けいれんと誤嚥事故の対応について(おひさまクリニック)	28名
9月 4日	施設見学・あいこう認定こども園落成式	園長
9月19日	インクルーシブ保育(阿部美穂子先生)	12名
9月18・ 19日	ムーブメント保育の実際(阿部美穂子先生)	8名
10月4日	道東3地区園長研修会	園長・主任
10月18日	パネルシアター・タオルあそび(松家まきこ氏)	10名
10月23日	主任研修(北海道経営懇)	主任
10月24日	保育士対象の性教育講座(釧路保育協議会)	主任
10月30日	幼保小連携と協働(釧路教育研究センター)	園長
11月1日	主体性を育む0・1・2歳児の保育(井桁容子氏)	13名
11月6日	正規職員研修	
11月7・ 8日	わらべうた(横川牧子先生) 未満児 以上児 職員	各クラス 夜13名
11月12日	AED講習	8名
11月26日	障がい児保育(公私合同研修)	1名(中堅)
12月19日	保育士交流会(私保連)	1名
12月17日	保育士交流会(私保連)	主任
2月17日	大友剛さん研修会	15名
	キャリアアップ研修	
12月	保護者支援・子育て支援	岡本・佐久間
	マネジメント	藤澤・佐久間
1月	幼児教育	大石
	障害児保育	堂下・岡元
	乳児保育	佐々木智・恵

3 職員の確保・処遇改善

- ・保育の仕事の魅力を伝えるため、ジョブカフェに出店したり、実習生やインターンシップを積極的に受け入れました。今年度は、7校から実習依頼がありました。そのうち1名が今期採用につながっています。
- ・臨時職員から正規職員への登用を行いました。当園からは応募がなく正規職員が少ない状況となるため、昭和の臨時職員と治水の正規職員とで人事異動を行いました。正規職員として働くことのハードルの高さはどこから来ているのかを見極めながら、臨時職員からの登用のあり方については、検討していく必要があります。
- ・処遇改善手当ⅠⅡⅢを活用し、毎月手当として支給し改善を図りました。更に、人事院勧告により正規職員の基本給の引き上げとそれに伴う差額の支給、8時間職員への手当の支給を実施、道の最低賃金引き上げによりパート職員の賃金表の改定を行いました。また、2025年度についても臨時職員の俸給表を改定し処遇改善を図ることができました。

4 感染症対策・安全・リスクマネジメントの取り組み

- ・大きな流行はありませんでしたが、様々な感染症は発生しています。その都度玄関に掲示して情報提供を行いました。
- ・薬の扱いについて、道の指導監査での助言もあり、依頼書だけではなく説明書での確認を行うよう改善をしました。また、なるべく園で投薬しなくてもいいように、一日2回の処方にしてもらえるよう園医にもお願いをし、保護者に変更点を周知しました。
- ・誤嚥事故の対応とけいれんについて小児科医による園内研修を実施しました。実際の映像を見ながらみんなで対応を考えることができ、より実践的な学びとなりました。今後も、全職員で救命救急について学ぶ場を作っていきたいと思います。
- ・AED（リース）を設置しました。補助金を活用し、ホールと0歳児室にエアコンを設置しました。1・2歳児室が未設置のためとても暑く、次年度の設置を検討しています。
- ・園内での事故が2件ありました。1件は午睡中に蜂に刺されたため、救急車で日赤病院に搬送しました。幸いアナフィラキシーショックはありませんでした。園庭に樹木があり蜜を集めに来ていること、木造部分が多いため蜂が巣を作りやすいなど、蜂が来る条件がそろっているため、蜂を見かけたらすぐに情報を共有し駆除などの対応をしています。2件目は、1歳児が保育室で転倒しロッカーのふちに額をぶつけて内と外合わせて7針縫うけがが起きてしまいました。このクラスのロッカーにクッション材がついておらず、安全点検の見落としがあったことを反省しました。この事故を総括し、気になる箇所には緩衝材を付け、ロッカーの見直しを行っているところです。
- ・災害時の対応では、マニュアルを整備し様々な災害を想定し、地域（商業高校）とも連携しながら避難訓練を行っています。また、保育園でもBCP（事業継続計画）の作成が努力義務となっていますが、まだ整備には至っていません。行政の指導を仰ぎながら整備していきたいと思っています。

5 各種規程の整備

- ・定年再雇用制度を策定し、対象の職員に説明を行いました。

6 法人ホームページ・園のリーフレットの更新

- ・ホームページに園だよりと給食だよりを掲載しています。必要に応じて、求人情報も掲載しました。

7 ICT の検討

- ・補助金を活用し、ICT システムの導入を行いました。2025 年度からの実施に向けて、2024 年度 2 月から登降園時の打刻をスタート、3 月から連絡ノートのテストを実施し、2025 年 4 月から本格的にスタートしています。アプリになったことで家庭からの連絡がスムーズで分かりやすくなり保護者には喜ばれています。また、職員間での情報の共有もしやすくなりました。ただし、帳票はまだ慣れていないため、これまでの作業よりも時間を要しています。事務の軽減につながるよう職員間で確認しながら改善していきたいと思います。

8 経営の課題

- ・国の公定価格の引き上げもあり、積み立てを取り崩すことなく懸案事項だったテラスの張替え工事を行うことができました。また、職員の処遇改善を行い、さらに積み立てを行うことができました。しかし、職員を基準以上に配置していることで人件費率は年々高くなっています。2024 年度については、大幅に公定価格が上がったため人件費率は下がっていますが、それでも 75%を超えています。職員を増員していることで園児と丁寧にかかわることができ、そのことが保護者の安心にもつながっていると思いますが、この先もこの体制を維持していくことは困難です。職員で保育のあり方（工夫）について検討していきたいと思います。

9 会議の開催

- ・会議をなるべく勤務時間内に行えるよう改善しました。事前に資料を配布し、会議時間の短縮を図ったことで職員の負担は軽減されました。また、今年度から、パート職員会議を廃止し、会議に参加しない職員には、担当者を決めて個別に周知するように改善しました。

定例職員会議・リーダー会議・給食会議（毎月） 正規職員会議（2 回）
クラス会議（9 回）・以上児会議（期毎）・ケース会議（期毎） 未満児会議（3 回）
行事等実行委員会（各 3～4 回）

10 修繕等

- ・下記の修繕を行いました。
建具補修・網戸取り換え（4 月）
屋外配管修理・トイレ換気扇工事（0・1 歳児室）（5 月）
テラス張替え工事（6 月）
エアコン設置（7 月）

炊飯器修理（８月）

電動水抜き装置取換・床下点検口取換・サーモスタットバルブ交換（８月）

保育室 LED ランプ取換（１０月）

建具調整（１月）

０歳児室手洗い器排水漏れ修理（２月）

コンセント工事・タブレット壁掛け工事（２月）

０歳児室床修繕（３月）

年間行事等実施状況（別表）

月	行 事	子育て支援	避難訓練
4	入園式(新入園児 15名) 誕生会 みそづくり(年長児)	入園式(15 家族) 園見学（1 件） マリーモ引継ぎ	火災 ・避難訓練って何？ ・非常ベルの音を聞く ・おはしもの話
5	端午の節句 誕生会 畑づくり ヤーコン植え 園児健診(堀口クリニック)	園見学（3 件）	火災 ・園庭に避難 ・通報訓練(確認)
6	歯科検診(エンゼル歯科) わらべうた(各クラス) 誕生会	個人面談(全家庭) クラス懇談会・親の会総会 年中お店屋さんごっこ（園 開放）園開放・見学(2件)	地震→火災 ・室内の安全な場所の確認 ・園長不在時の訓練
7	誕生会 交通安全教室 夏まつり	夏まつり(親の会と共催) 園開放・園見学（2 件）	地震 ・防災食調理 ・停電になった時の話
8	誕生会 七夕 親子遠足	就学支援のための面談 園開放・見学（2 件） 親子遠足（動物園）	火災 ・手つなぎ公園→雨の為各部 屋で確認 ・消火訓練(給食室)
9	誕生会 ムーブメント(年長児・年中児) 運動会(2 歳児クラスから) 枝豆収穫（年長児）	園開放・見学（5 件） 運動会(2 歳児クラスから) おとまり会保護者説明会	地震・大津波 ・雨のためホールに避難 ・緊急メール送信訓練
10	誕生会 おとまり会(年長児) 鮭の解体(年長児) 園児健診（堀口クリニック） 劇団風の子公演	園開放・見学（7 件） 劇団風の子公演	総合火災避難訓練 ・通報訓練 ・消火訓練 ・放水訓練体験(年長児)
11	誕生会 動物園遠足(4・5 歳児) わらべうた おたのしみ会ごっこ(2 歳児発表) 職員健康診断(～12月)	保育参観(0・1・2 歳児) 給食試食会(0・1・2 歳 児) 園開放・見学（11 件）	地震 ・停電を想定した訓練 ・照明・暖房等備品の確認
12	おたのしみ会(3 歳児クラスから) もちつき クリスマス・誕生会	おたのしみ会(以上児) クラス懇談会(2 歳児) 年長お化け屋敷（園開放） 園開放・見学（7 件）	火災 ・通報訓練 ・冬の身支度訓練

1	誕生会 鏡開き・お正月あそび 交通安全教室 年長交流会(治水どんぐりへ)	園開放・見学 (0件)	地震・大津波 ・商業高校近くまで避難 ・冬の避難方法の確認
2	誕生会 節分 一日入学(年長児) 集合写真撮影 大友剛さん公演	クラス懇談会・茶話会 園開放・見学 (2件) 大友剛さん公演 個別面談	火災 ・冬の身支度訓練 ・通報訓練
3	ひな祭り・誕生会 文集製本 卒園式 SL 遠足 お別れ進級会 入園説明会	クラス懇談会(0~4 歳児) 保護者とマリーモを共有し 小学校へ引き継ぐ 園開放・見学 (2件) 保護者アンケート実施	地震(予告なし)とまとめ ・午睡後の地震訓練 ・園長不在時訓練 ・会議で災害時のマニュアル の確認を行う。

園の自己評価と課題

別紙

保育園の運営状況

*年間利用者数：園児数（人）・一時保育（利用日数）

	園児	一時		園児	一時		園児	一時
4月	71	0	5月	71	8	6月	71	38
7月	71	19	8月	71	13	9月	70	10
10月	70	19	11月	69	17	12月	70	24
1月	70	23	2月	70	21	3月	70	26

*職種別職員数(3月末日現在)

園長	保育士（パート）	栄養士	調理員	事務	用務
1名	25名（12名）	1名	4名	1名	2名

2024年度の課題の取り組み状況について

1 保育園の管理運営の充実

- ・2024年度は、こどもも大人も「交流」や「関わり」を広げられる取り組み取りとして、中止していた「合同リズム」を始めたり、月に一度の異年齢交流（なかよしの日）の中では、職員間の交流として保育を見合うことを行いました。子ども達は、合同リズムや異年齢交流の中で、自然な形で交流が深まり、普段接する機会が少ない小さい子との関わりの中では、優しさや思いやりの気持ちを育めたように感じます。そして、両園での年長交流では、お互いの園に遊びに行ったり公園で一緒に遊んだりと計画的に実施することができました。職員間での交流については、クラス以外の保育士の保育をみる機会は日々の中では殆どありませんが、異年齢交流に色んなクラスの職員が関わり、保育を見合う経験は、若手職員にとって“保育を知るきっかけ”となり良い経験に繋がりました。子どもも大人も「交流する中で育ち合う」ことを大切にしながら保育することができたように思います。
- ・子育て支援として、登降園時になかなかゆっくり話す時間が持てないことから、園児1人につき30分として保護者面談を実施し、家庭での様子を聞きながら子育ての悩みや相談について話し合う時間を設けています。クラス懇談会の中では、日頃の様子をビデオ上映する中で園児・クラスの様子を少しでも分かりやすく伝える工夫を行い対応しています。また、親の会との共催で実施した秋まつりでは、地域の方にも声を掛け、年長さんのお神輿を応援していただいたり、卒園児さんも遊びに来てくれたりと短い時間でしたが、交流することが出来ました。卒業式後には卒園児と保護者の方が園に集い、担任との時間を楽しんで行きました。ですが、保護者家庭にも様々な背景があり、要支援家庭や丁寧な関わりが必要な家庭など、保護者対応についての役割の大きさを感じています。“家庭に合わせた援助とは”どんなことなのかを職員と一緒に考え、信頼関係作りを丁寧に築いて行きたいと思います。
- ・両園長での打ち合わせは、事務局会議の後やその都度必要に応じて行い、各園の状況についての話し合いや相談など話し合うことができました。今後も、運営についての課題や職員間での課題についてなど情報共有を行い、人事異動も含め働きやすい職場作りを両園で目指して行きたいと思います。

2 研修の充実

対面での研修を通して交流が出来たりと保育に繋がる研修を実施することができました。
今後も色々な研修に参加できるように、職員のキャリアアップを目指した研修計画を立て実施
したいと思います。

日付	研修内容	参加者
4月19日	新人研修/両園	新人1名
5月20日	わらべうた研修(知念先生)	主任・8H職員2名
5月25日	園内研修 午前：保育の仕事に願いをもって学習会(柏木さん) 午後：保育指針の読み合わせ・園内危険個所の確認・対策	8H職員15名
6月7日	子育て支援連携会議	主任
6月8日	療育施設(すなぐる)見学	8H職員2名
6月14日	わらべうた研修(横川先生)	8H職員13名
6月18日	保協「主任研修コーチングについて」	主任
6月25日	私保連研修「整理整頓術」	8H職員2名
6月26日	不審者対応研修/ベルックス入江さん	8H職員13名
6月28日～31日	第63回全国保育問題研究集会	園長・8H職員2名
7月4日	特別支援保育(短大講師 小林先生)	8H職員12名
7月10日	療育施設(のの花園)見学	8H職員1名 加配パート1名
7月18日	小児救命救急研修(おひさまクリニック須貝院長)	8H職員13名 パート職員6名
8月8日	保協研修「ASDについて」	8H職員2名
9月18日	ムーブメント研修/せんもん学校 阿部先生	8H職員1名
10月4日	三地区園長・主任研修	園長・主任
10月11日	わらべうた研修(横川先生)	8H職員10名
10月18日	私保連研修「パネルシアター」	8H職員9名
10月23日	経営懇「主任研修」	主任
10月24日	保協研修「性教育」	主任・8H職員1名
10月30日	特別支援保育(短大講師 小林先生)	8H職員12名
11月1日	保協研修「主体性を育む研修」	8H職員9名
11月19日	AED使い方について	8H職員13名
12月11・18日	キャリアアップ研修(乳児保育)	8H職員1名
12月17日	私保連研修「保育士交流会/主任・主幹・副園長」	主任
12月20・24日	キャリアアップ研修(乳児保育)	8H職員1名
12月19日	私保連研修「保育士交流会(保育士)」	8H職員1名
1月16日	支援課主催「モウハラ研修」	栄養士・8H職員1名
1月16・17日	キャリアアップ研修(保護者支援)	8H職員1名
2月14日	栄養管理研修	栄養士
2月17日	「職員研修」(大友剛さん)	8H職員12名
2月20日	特別支援保育(短大講師 小林先生)	8H職員11名

3月6日	給食従事者研修会	栄養士
3月13日	療育施設（こどもねっとみはら）見学	8H 職員 1 名

3 職員の確保・処遇改善

- ・転勤により 10 月中旬に用務代替職員の退職がありましたが、ハローワークから採用でき欠員補充できました。12 月末にも家族の都合により保育士パート職員が退職になりましたが、体制に若干ゆとりがあり、新規採用せずに済みました。ですが、常勤職員の退職に伴い新卒者の採用は出来ましたが、経験者が退職し経験の浅い職員が増えていることから、担任を持てる職員に限られ担任としての負担が大きいと不安の声がありました。経験者を採用するために紹介業者を頼ると紹介料の出費が大きくなることから、両園での人事異動を検討し、2024 年度 4 月より昭和から経験のある常勤者に治水へ異動してもらい職員体制の調整を図ることが出来ました。2 園化になって初めての人事異動ということもあり、異動してきた職員も緊張感の中での保育の始まりでしたが、みんなで協力しあう中で少しずつ打ち解けることができ、助け合いながら 2024 年度を終えることが出来ました。今後も、その年度によって職員体制の調整が必要になるか分からないため“助け合える関係性”を両園で築いていけるよう、研修や職員間交流の場の機会を意識的に計画し、職員確保についての環境を整えていきたいと思います。
- ・保育士処遇改善を活用し、処遇の改善として継続して支給しています。

4 感染症対策・安全・リスクマネジメントの取り組み

- ・園内で感染症が出た場合は、玄関に都度情報を掲示し保護者の方へ周知しました。罹患した園児・職員・保護者はいましたが、大きな感染の広がりはなく済みました。日々の消毒清掃を継続し、感染予防に努めたいと思います。
- ・毎月の定例職員会議や避難訓練時に、事故防止や安全対策について確認しています。更に、ヒヤリハット報告はその都度回覧し、危険個所の確認や保育中の対策など、職員間での情報共有につなげています。環境に対する改善が必要な場合は、確認した時に対応し安全管理に努めました。その他に、初めての試みでしたが警備会社の方をお招きして「不審者対応訓練（職員研修）」を実施しました。園の不審者対応マニュアルを使用しながら動きや対応方法を聞き、実際にさすまたの使い方のレクチャーを受けるなど、学びに繋がる研修となりました。2025 年度は、毎月の避難訓練に「不審者訓練」も計画したいと思います。
- ・「小児救命救急研修」をパート職員も含め実施することができました。また、AED 導入のタイミングにあわせ、使い方を学ぶ研修の時間を設けることもできました。2025 年度も、小児救命救急研修は子どもの命に係る大事な研修なため、パート職員を含め実施したいと思います。

5 各種規定の整備

- ・パート職員の最低賃金改定に伴い、給与体系の見直しを図り、組合との協議後パート職員へ周知し、就業規則を変更いたしました。また、2024 年度を持って定年を迎える職員には、法人として「再雇用制度」について説明会を行いました。今後も、各種規定の整備・変更等が必要になった場合は、職員へ周知して行きたいと思います。

6 法人ホームページ・園のリーフレットの更新

法人ホームページでは、園だより・求人他に「給食だより」を新たに掲載しています。また、園のリーフレットは、2025 年度に向け更新していきたいと思います。

7 ICTの活用

ルクミーフォト（アプリ）の導入から、更に活用を広げ 2024 年度は、「登降園打刻システム」を 2 月より開始しました。また、2025 年度 4 月からは「連絡ノート・帳票管理・お便り」など、職員の業務軽減を図るため、保護者と職員の下承を得た上で更なる活用を実施して行きたいと思います。

8 経営の課題

- 職員の退職に伴い新卒者を採用し対応していますが、中堅世代の職員が抜けることでの大変さや新人の育成など、職員体制作りが年々難しい状況にあります。また、手立てや配慮が必要な園児も低年齢クラスを含め年々増加傾向にあり、保護者対応についても要支援家庭など色々な家庭背景があり、保育園としての果たす役割の大きさを感じます。また、職員世代も介護・結婚・育児と様々な状況にあることから、休みやすい環境作りと働きやすい職場環境を整えて行くことが重要だと感じています。職員が安心して働き続けられる環境作りと新人保育士を含めた職員間の連携や関係性作りを積み重ねていけるよう、会議の持ち方の工夫や意見を出し合える環境作りを考えながら対応して行きたいと思います。
- 経営面では、大きな修繕として 3 歳児クラスの床の張替えと、補助金を活用して 0・1 歳児室・ホールにエアコンを設置し熱中症対策にも取り組むことができました。治水の園舎もだんだん老朽化していきますので、施設環境の安全対策を心掛けたいと思います。また、水道光熱費や物価高騰による経費値上がりの状況が続き、経営にも影響が出ていると感じますが、給食室でも質を下げずに材料の変更や調整を図り、残食を出来るだけ減らす努力を行いながら対応しています。保育の面でも事務用品の無駄使いや物を大切に使うことを子ども達にも伝えながら大人同士でも意識して過ごしています。物価高騰はまだまだ続いていくと思いますが、保育・給食室一体となって工夫を凝らし協力し合って行きたいと思います。

9 会議

超勤を減らすことと出来るだけ夜の会議を減らし、昼の会議で出来ることは昼の時間に行い、夜の会議も時間を決め早めに終われる工夫（事前に資料を読む・検討したいことを考えてくる等）を行い実施いたしました。

- 定例職員会議、リーダー会議、給食会議、パート職員報告会：毎月 1 回
- カリキュラム会議
以上児クラス：3 ヶ月に 1 回
未満児クラス：個人カリキュラムを反映させクラス会議を有効に活用
交流会は年間 3 回（カリキュラム検討・保育の悩み相談・ミニミニ実践）
- クラス会議：毎月 1 回程度（4 月・8 月・3 月はなし）
- ケース会議：3 ヶ月に 1 回
- おとまり会打ち合わせ：6 月・7 月
- 運動会実行委員会：8 月・9 月
- おたのしみ実行委員会：10 月・11 月
- 卒園式実行委員会：2 月・3 月
- 新年度準備会議：3 月 22 日

10 修繕等

* 下記の修繕を行いました。

- 園庭 2 ヶ所安全ネット
- エアコン 3 台設置（補助金活用）
- 砂場抗菌剤
- ホール排煙窓不具合工事

- ・園庭裏マンホール付近陥没工事
- ・玄関電気錠交換
- ・トイレアコーディオンカーテン設置
- ・3歳児クラス床修繕工事

年間行事等実施状況

	行事	子育て支援	避難訓練
4	・入園式 ・味噌づくり/年長 ・誕生会 ・給食交流/両園	・園見学なし	地震 ・身を守る訓練
5	・端午の節句誕生会 ・なかよしの日	・園見学/1名 ・園開放/2名 ・保護者面談/0～2歳 ・クラス懇談会/3・4歳	火災 ・火災時の避難方法確認 ・おはしものお話/4・5歳
6	・誕生会 ・味噌手返し/年長 ・園児健診 ・歯科検診 ・リズム交流・わらべうた ・なかよしの日	・おとまり会説明会/年長 ・クラス懇談会/0.1.2歳 ・園見学/3名	地震から大津波 ・協立病院へ避難
7	・おとまり会/年長 ・誕生会 ・なかよしの日 ・ミニミニ運動会/2歳以上 ・交通安全教室/以上児	・園見学/2名 ・親の会総会	火災 ・治水公園へ避難 ・消化、通報訓練実施
8	・親子遠足 ・七夕誕生会 ・年長交流/両園 ・なかよしの日	・園見学/1名 ・クラス懇談会/年長 ・親子遠足	地震 ・身を守る訓練
9	・運動会 ・誕生会 ・健康まつり/年長 ・リズム交流 ・なかよしの日 ・秋祭り	・園見学/3名 ・ランチ会 ・秋祭り ・運動会	シェイクアウト訓練 ・身を守る訓練
10	・七五三誕生会 ・鮭の解体/年長 ・わらべうた ・劇団風の子公演 ・なかよしの日	・園見学/4名 ・劇団風の子公演 ・ランチ会	総合避難訓練 ・火災避難訓練 ・通報訓練
11	・ことばの教室/3歳以上 ・ミニミニおたのしみ会/2歳以上 ・おたのしみ会/2歳以上 ・誕生会 ・なかよしの日	・園見学/13名 ・おたのしみ会/2歳以上	地震 ・停電を想定しての訓練 ・照明、暖房等備品の確認
12	・集合写真撮影 ・リズム交流 ・なかよしの日 ・もちつき会 ・クリスマス会誕生会	・園見学/2名 ・園開放/1名	地震から大津波 ・協立病院へ避難 ・冬の身支度訓練
1	・鏡開き、お正月遊び ・なかよしの日 ・年長交流/両園 ・節分 ・誕生会	・園見学/4名 ・大友さんコンサート	地震 ・身を守る訓練
2	・誕生会 ・園児健診 ・交通安全教室・なかよしの日 ・1日体験入学・SL 遠足/年長 ・大友さんコンサート	・園見学/3名 ・クラス懇談会/0～3・5歳	火災 ・治水公園へ避難

3	・ひな祭誕生会 ・リズム交流 ・なかよしの日	・卒園式 ・お別れ進級会	・クラス懇談会/4 歳 ・園見学なし	地震（予告なし） ・まとめ
---	--	---	---	---

園の自己評価と課題（保育園の自己評価参照）

＊別紙参照